



情報と制御の独創技術で未来を創造する

Creating the future through original technologies in information and control



未来創造開発拠点

**SEIKO
ELECTRIC**

正興電機製作所

Lsite/Rsite

Lサイト(連携・絆の意味のLinkingの頭文字:L型の施設)は正興電機グループが永年培ってきた技術を広くご紹介し、お客様をはじめ、社会との連携をなお一層深める施設として、また、Rサイト(Refreshの頭文字:R型の施設)は心身ともに健康な社員の福利厚生施設としての諸機能を備えた施設として2012年に開設致しました。



展示室

The exhibition hall floor plan includes the following sections:

- 会社概要**: Includes Company Profile, History, and Annual Report.
- 電力**: Includes Environmental Power Equipment, Work Support Systems, Remote Equipment Support Systems, Integrated Control System, Distribution Automation Systems, and Smart Security.
- 環境エネルギー**: Includes Water Treatment Monitoring Control Systems, Next-generation Water Treatment Monitoring Systems, Water Quality Monitoring Devices (Biological Sensors), Renewable Energy Utilization Promotion Techniques, Environmental·Water Management System Verification Project, Tidal Difference Power Generation, and Compact Small Hydropower Systems.
- 情報**: Includes Port·Bay Solutions and Health Management and Health Care Solutions.
- オプトロニクス**: Includes Optoelectronics Solutions and Light Solutions.
- 電子制御機器**: Includes Cam Switches, Edge Tables, Leakage Relays, and Joysticks.
- 新事業**: Includes AI Solutions, Patrol Point Inspection Robots, and Transport Robots.

R site カフェテリア 人の輪・つながりへの思い



食事や語らいのリラックス空間でありながら、健康管理システムを取り入れた食の栄養バランス管理による社員の健康増進の実証の場となっています。

R site 屋上庭園・中庭 ゆとりの空間と環境保全



Rサイトの屋上に設けられた屋上緑化は緑豊かな屋外空間として、ゆとりの空間を提供すると共に断熱効果による省エネに貢献しています。遊歩道を配した中庭は緑に囲まれた憩いの場として、屋上とあわせて社員のコミュニケーションの場となっています。



Eサイト(Engineeringの頭文字:E型の施設)は今後の正興グループの成長を期し、技術開発の中核を担う拠点として2021年9月に開設しました。

これから新しい働き方に対応し、「低環境負荷、健康増進・快適性、知的生産性の向上」を図る「スマートウェルネスオフィス」を目指し、働く空間や、照明、空調などを執務者各人が選択できる柔軟性の高いワークプレイスを構築し、更に、多様な省エネ対策と、太陽光エネルギーの積極的活用により「ZEB」(ゼロエネルギービル)を実現しています。

E 環境負荷の低減(ZEB)

建物の省エネ構造や高効率設備など多様な省エネ施策の導入

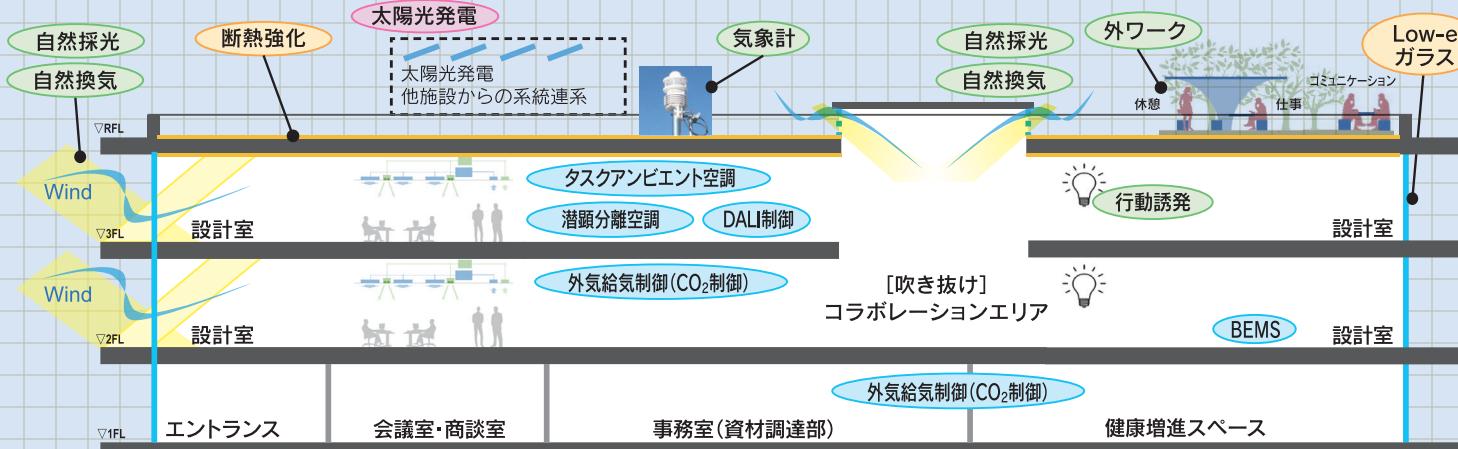
※■は国交省の「サステナブル建築物等先導事業」に採択された項目です。

1 熱が入りにくく逃げにくい建物をつくる (外皮性能の向上)

- Low-eガラスの採用
- 断熱強化(屋根)
- 水平・垂直ルーバー
ファサードデザインとガラス面の強調の両立

3 無駄をなくし効率の良いシステムを上手につかう(高効率システム)

- | | | |
|----------------------------|--|----------------------|
| ■タスクアンドエント空調
2,3F設計室に採用 | ■潜顕分離空調
2,3F設計室に採用 | ■その他省エネ技術
>人感センサー |
| ■高効率空調機 | ■外気給気制御(CO ₂ 制御)
事務室エリア全般に採用 | ■全熱交換器 |
| ■BEMS | ■DALI制御 | ■節水器具
>高効率変圧器 |



2 自然のエネルギーを積極的につかう(自然エネルギー)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| ■自然換気の導入 | ■マルチ気象計 | ■エネルギーの見える化 |
| ■外気冷房 | ■自然採光の導入 | ■行動誘発 |

4 エネルギーをつくる(再生可能エネルギー)

- | |
|---------------|
| ■太陽光発電(240Kw) |
|---------------|

基準ビル

1.0

-0.15

E サイト

-0.4

-0.2

ZEB

(基準ビルのエネルギー消費量を1.0として比較)

省エネで-57%

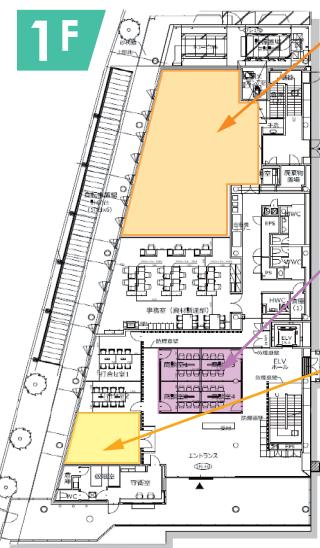
創エネで-58%

1.0

●環境認証の取得

～建物の省エネとNet ZEBの達成～

- BELS 認証 (第三者評価認証)
最高レベル☆5 ランクと Net ZEB を達成
- CASBEE 認証 (第三者評価認証)
最高レベル S ランクを達成
- サステナブル建築物先導事業
省 CO₂ 先導型：中小規模部門に採択



【アクティビティースペース】

- ・軽度な運動による健康づくり
- ・心身のリフレッシュ
- ・社員同士のコミュニケーションの場

【商談スペース】

【モニタールーム】

- ・エネルギー管理の見える化
- ・当社の最新技術や新開発製品の社外発信の場

【グループエリア】

- ・若手の育成、技術伝承など
- ・グループ内コミュニケーションを重視するエリア

【コラボレーションエリア】

- ・フロア中央吹き抜け部に配置
- ・吹き抜け部は2階、3階の共有空間として全体でのコミュニケーションなど多用途に活用することでフロア相互の一体感をもたせている。

【ABWエリア】

- ・自律した中堅以上の技術者は業務内容に応じた執務場所を選択することで効率よく仕事ができる
- ・プロジェクトなど、複数人作業も効率アップが可能となる

ABWエリア(ミーティング席)



【部長席エリア】

- ・部長席を集約し、部間、部門間の情報共有による横串連携強化